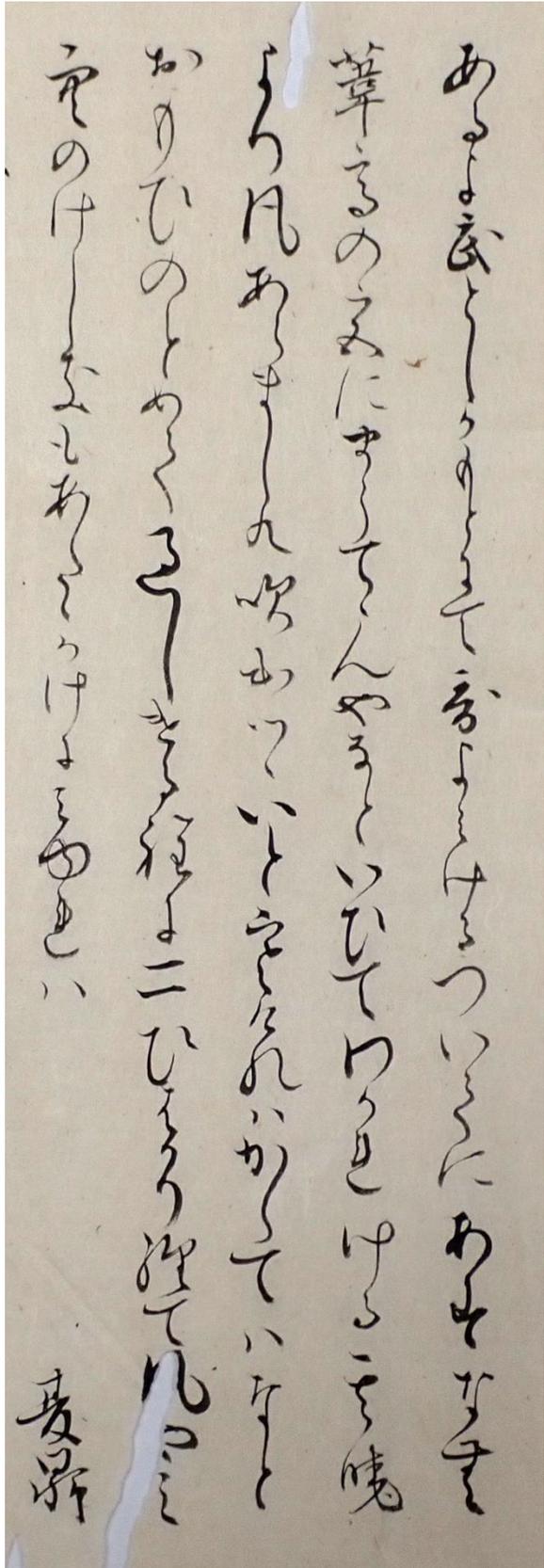


演習問題③

【内容の要旨】 井上素堂（夏鼎）が歌仲間の家で和歌の集まりをした際に明日足高神社に参拝してみようという話をした。しかし天候が悪く、予定通りにいかずに様子を見ていたところ、天気が回復して温暖になったので、素堂はあらためて歌仲間の二人に和歌を送り、足高神社に行ってみようと呼びかけたところ、二人ともOKの意味の返歌をくれた。



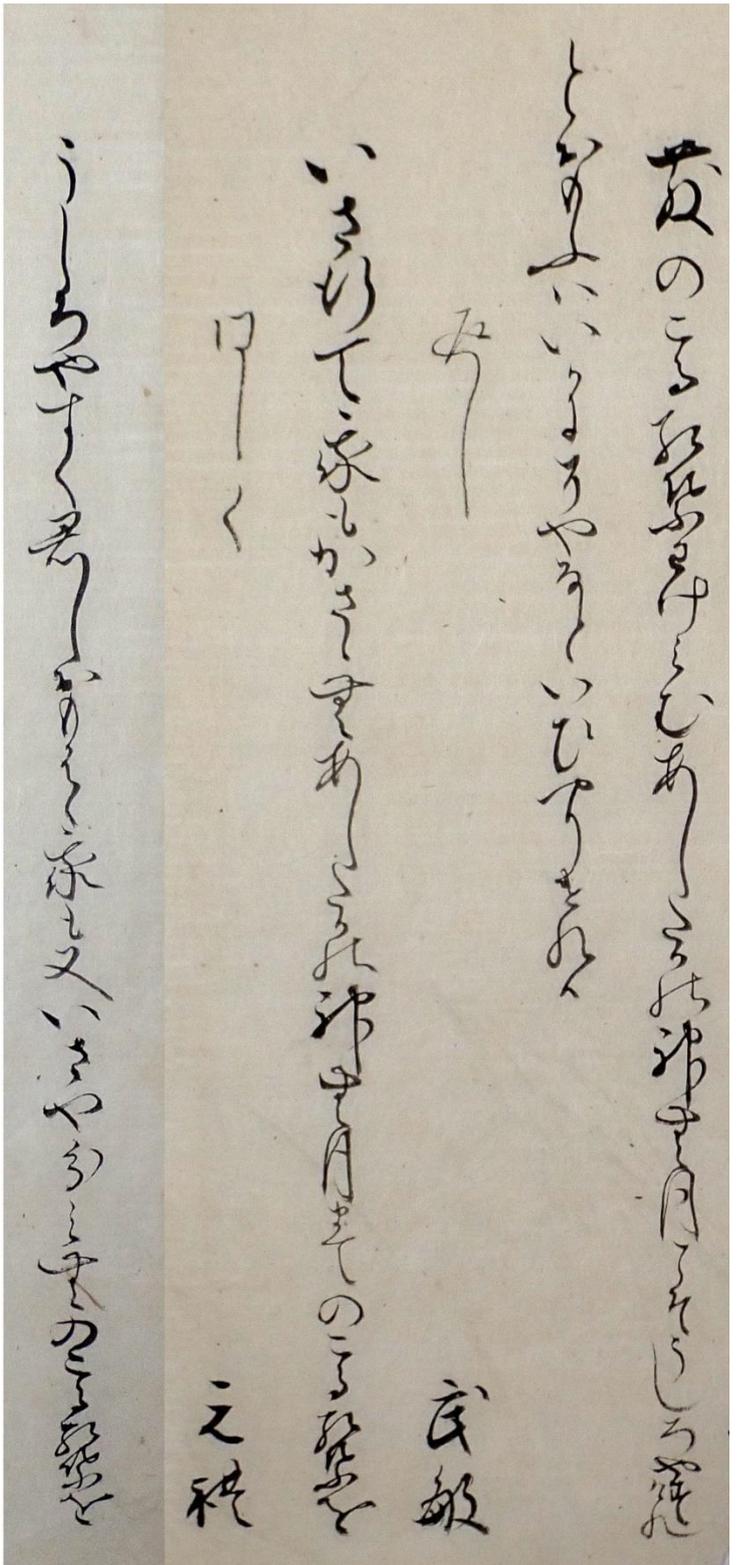
あるよ武とし 「哥よミけるついでに、 「

葦高の宮にまうて、んやなといひて 「、其暁

より風あらましく吹出ツ、いと寒けれハ、かうてハなと

おもひのとめて過しける程に、二ひ 「経て風やミ

空の 「 夏鼎



散のこる紅葉わけミむ」 「神無月こそうしろやすけれ

とおもふはいかにそやなといひやりけれハ

返し

武敏

いさ行て我もかさゝむ」 「神無月までのこる紅葉を

同しく

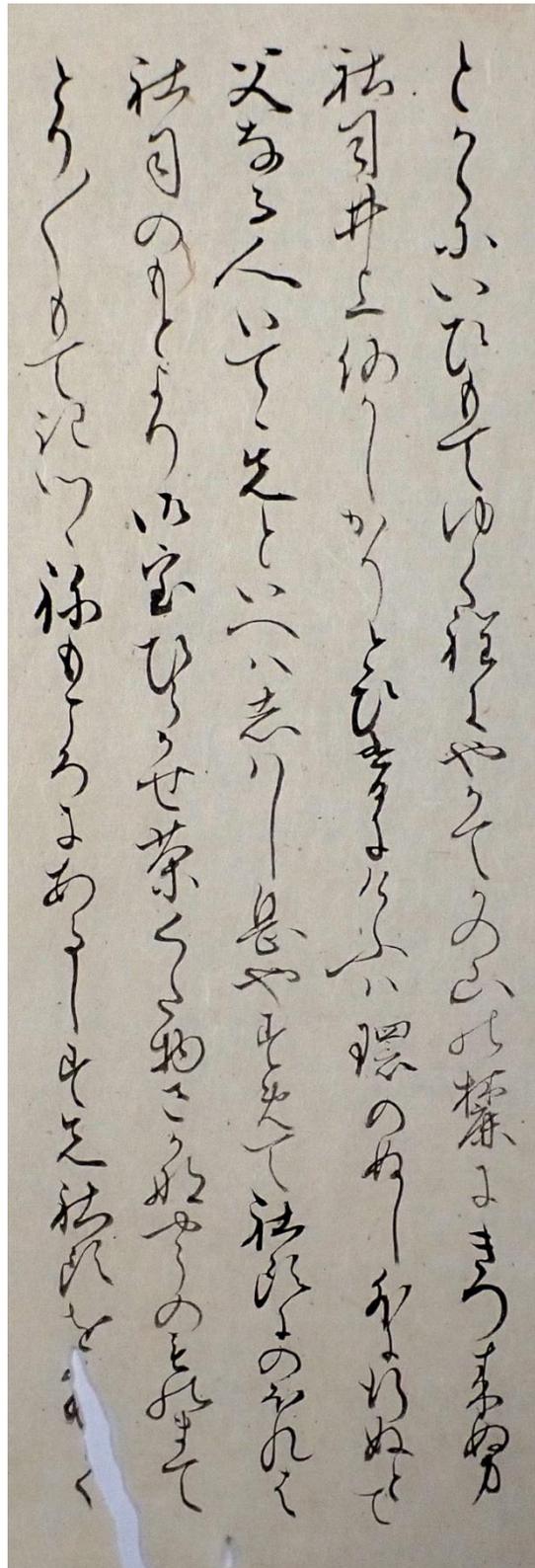
元礼

うしろやすく君しおもはゝ我も又いさや分ミむのこる紅葉を

★演習問題③の原文には【内容の要旨】でまとめたことがかな文で具体的に記述してあります。穴あき部分を翻刻してみましょう。

演習問題④

【内容の要旨】このように言い合って歩いているうちに、足高山のふもとに辿り着いた。神主の井上某のもとを訪問したところ、本日は井上環は外出しているというので環の父親が出てきて先というので、暫時休憩して神社へ上がっていくと、神主の方から部屋を開け、飲食物をあれこれ持ってきて懇切にもてなしてくれた。(後略)



とかうにいひもてゆく程に、「
社司井上何かしかり」「けふハ環のぬし外に行ぬとて
父なる人いてゝ先といへハ、「社頭」「
社司のもとより御室ひらかせ、茶くた物」「
とりく」「先社頭を(虫喰)

★演習問題③の原文には【内容の要旨】でまとめたことがかな文で具体的に記述してあります。穴あき部分を翻刻してみてください。

演習問題⑤ 全文を活字化してみましょう

うらなひのいふまゝにあらはせしむるは
むらぬのけしきもあらはせしむるは
うらなひのいふまゝにあらはせしむるは
むらぬのけしきもあらはせしむるは

Blank area for transcription.